



会報
シルバー

きたうら

題字／第三代理事長 佐藤貞一氏書

第 30 号

(通巻第53号)

令和2年8月1日

■発行

公益社団法人

仙北市シルバー人材センター

仙北市角館町北野62-2

電話55-1646/FAX55-1652

E-mail:kitasen@sjc.ne.jp



十数年前から角館町横町通りの街路拡幅整備が行われ、やまぼうしの真っ白な街路樹並木が美しく咲きほこっていました。

写真・文／広報委員長 真田 修



会報シルバーきたうらの、表紙に載せる写真を広く会員の皆さんから募集しますので写真に簡単なメッセージを添えて応募して下さい、お待ちしております。

ツバメ
『玄鳥に車庫を貸したら・・・!』

飼い犬のためにシャッターの一部を少し開けておいたら、いつの間にか燕が車庫の天井に、しかも車の上に巣作りを始めました。毎朝の洗車に堪りかねて車庫を明け渡すことにしました。

6月の上旬に、巣立ち間近になった可愛い五つ子のお披露目です。

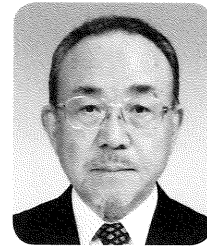
写真・文／広報委員 高田紀市



理事長に任命されて

公益社団法人仙北市シルバー人材センター

理事長 山田 勝洋



令和二年
年度定時
総会の役
員改選に
於いて理事長を拝命してその
重責に身の引き締まる思いで
す。

今年には新年号令和になって

約一年になりましたが、新型コロナウイルスと云う未知の感染症が日本のみならず世界全体に蔓延して、この夏に予定されていたスポーツの祭典、東京オリンピック・パラリンピックが一年延期となりました。観光に力を入れている本県、

田舎暮らしの価値

仙北市長 門 脇 光 浩



初めて
令和で年
が明け、
新たな決意で躍進の一年を思い描いたことが昨日のようです。国内では二月あたりから新型コロナウイルスの脅威が

話題になりました。その後、あつという間に世界中で都市封鎖が始まり、感染症との闘いが日常化しました。しかし文明を邁れば、人類は何度も疫病と闘い、本当にたくましく新たな町づくり、新たな価値

特に仙北市としては大打撃を受けています。当センターの会員の中にも影響が及ぶようになってきていると思われまます。経済面でもリーマンショック以来の大巾な落ちこみと云われています。生活様式は従来と大きく変り三密を避ける為スキンシップもなくなり友人達との会食も儘ならない味気の無い生活を強いられている状態です。この状況がいつまで続くのかと思うと気が滅入ります。この感染症に有効な

価値創造を続けてきたことが分かります。

今回の新型コロナウイルスでは、疎の優位性が着目されています。ぎゅうぎゅうの電車で通勤したり、千人がすれ違う交差点を渡ったり、とにかく人の多さが危険と直結する感染症です。それがないだけで田舎は安全で、新たな価値と言って良い魅力です。夢を叶えるために故郷を後にした時代は終わり、自然が

ワクチンが一刻も早く開発される事を願っていますがそれまでは感染を防ぐ為のマスクは手放せません。暑い夏場はマスクに依り熱中症のリスクが高まりますのでその点も充分留意して仕事に赴いて下さい。

最後になりますが、会員並びに市民の皆様の役に立つよう微力ですが責務に専念してまいりますので今後共ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

豊かで通信設備が完備した田舎に暮らしたい、安全な環境で子育てをしたい、そんな若者の声が拡大しています。この声にこたえるために、仙北市でも移住・定住政策の見直しが必要です。これまでも貴センターは技術の継承や社会貢献・健康増進で地域の暮らしを支える力でしたが、さらに皆さまの存在が重要な役割を果たす時代がやってこようとしています。

令和二年度 定時総会に出席して



去る六月九日、西木温泉クリオ
ンに於いて公益社団法人仙北市シ
ルバー人材センターの定時総会が
開催されました。物故会員に黙禱
をしてから、高橋理事長が欠席の
ため相馬副理事長が理事長の言葉
を代読した後、来賓の仙北市長代
理、仙北市観光商工部長の細川氏
と仙北市議会議長黒沢氏より祝辞
を頂戴しました。その後議長に角
館地区北部班中村会員を選出し定
足数報告。今回は新型コロナウイ
ルスの感染症拡大防止の対応とし
て議決権行使書が多く、会員二九
八名のうち出席者二六名、委任状

が四十名、議決権行使書百六十名
議決権総数二二六名で要件を満た
している事から議案書に基づいて
審議が進められました。

監査報告に始まり令和二年度の
事業計画、収支予算、資金調達及
び設備投資の見込みについての報
告のあと議事に入り、前年度の事
業報告、収支決算、定款の一部改
正、役員報酬及び費用に関する規
程の一部改正について決議があり
ました。任期満了に伴う役員改選
では選考委員長から報告があった
理事七名、監事二名が全会一致で
選任されました。

議長退席のあと理事会が開かれ、
新理事長に山田勝洋氏、副理事長
に相馬順子氏(再)、常務理事に
菅原和善氏(再)が選任され、山
田理事長より新任の挨拶があり総
会を終了しました。

これからは気温や湿度も高くな
る季節となります。新型コロナも
終息していません。皆様体調管
理には気をつけてシルバー人材セ
ンターがますます発展するよう頑
張りましょう。

広久内班 伊藤 謙悦



新役員名簿

理事長 山田 勝洋
副理事長 相馬 順子
常務理事兼事務局長

理事 菅原 和善
理事 西宮 忠雄
理事 井上 久美子
理事 高田 紀市
理事 西宮 博和
監事 石橋 勝美
監事 橋本 勲

退任役員

理事長 高橋 一海
理事 藤田 利孝
理事 伊藤 謙悦
理事 佐々木 善一

理事長退任のごあいさつ

高橋 一海

去る六月九日令和二年度仙北市
シルバー人材センター定時総会が
盛大に開催されましたことを心よ
りお慶び申し上げます。本来であ
りますと理事長の私が出席致しま
してご挨拶を申し上げるべき所、
長らくの入院生活の為に体調が思
わしくなく皆様にご挨拶がしまし
たことを申し訳なく思っております。
過去三期、六年間理事長とし
てそれなりに働いて参りましたが
その間会員の皆様を初めと致し
まして、役職員皆様より大変に
ご協力賜りましたことを衷心よ
り厚くお礼申し上げます。

今後は会員として出来るかぎり
働いて参る所存であります。セン
ターの基本理念であります「自
主・自立・共働・共助」の精神の
言葉が好きです。会員の皆様にも
この言葉を考え実行し楽しく働き
仲良く話し合い、助け合い、良い
仕事をし、お客様に信頼されます
様に頑張りたいと思っております。
これからは暑い日が続きますので
お互いに健康管理に充分に留意
して頑張りましょう。一言退任の
ご挨拶と致します。

喜寿を 迎えて

シルバー人材センターと共に

雲沢班 真田 修

平成十五年満六十歳にシルバー人材センターに登録してから今年で十七年になりました。その間、秋田県シルバー人材センター連合会主催の技能講習も十四教科を修了させていただきました。塗装、パソコン一種、庭木の剪定、調理、パソコン簿記入門、パソコン実務(二回)、緑地保全管理(造園)、緑地保全管理、スーパ一等販売補助員、調理補助員、保育児童クラブ補助員、家事支援員、介護補助員等々、様々な講習で学ぶことの楽しさを経験させていただき感謝のおもいでいっぱいです。今ではパソコン講習がキッカケで七年前から角館町グラウンドゴルフ協会の事務局で大会のプログラム他書類関係の作成ができるようになりました。

又、十数年前には秋田県主催の地域ITリーダー研修を受講し、仙北市の広報お知らせナビでインターネット活用講座を開催二十名ほどの参加で市民の関心を集めました。現在ではスマホの普及でインターネットがおおいに活用されています。事情で一人住まいです

が調理講習などのおかげで、三度の食事もバランスの取れた料理で苦もなく楽しく作っています。昨年より体調も良くなり以前にスーパー等販売補助員の講習を受講していたこともあり角館町の某スーパーで一日午前中三時間ほど働いています。

これらの講習で得た知識を日常生活に無駄なく生かしていきたいとおもっています。何事にも興味を持ち、好奇心を旺盛に心がけていたことが良かったかなと今では振り返ってみる此の頃です。

「多くの知識は多くの知恵を生む」といわれています。これが私の人生のモットーで喜寿(七十七歳)を迎えて思う事は、節目の七十五歳前後で知人、友人が亡くなったり、大病に冒されたりしています。私も数年前まで様々な病魔と戦って一時はもう終わりにかなと思つてもありました。ここにきて大きなヤマを乗り越えた感があります。秋田県の目標「健康長寿」を多くの知恵を駆使して乗り切っていきたいと願っています。

新入会員の紹介

12月下旬から6月までに、会員となった仲間15名をご紹介します。

- | | |
|------|--------|
| 中央班 | 高橋 礼子 |
| 岩瀬班 | 小西 スミ子 |
| 中川班 | 藤本 ナオ |
| 中川班 | 仙波 賢司 |
| 菅沢班 | 伊澤 芳郎 |
| 神代班 | 佐藤 賢正 |
| 神代班 | 小野 輝夫 |
| 神代班 | 嶋村 重美 |
| 神代班 | 藤村 達雄 |
| 神代班 | 藤原 由昌 |
| 神代班 | 真崎 美樹子 |
| 生保内班 | 相原 美樹子 |
| 生保内班 | 武藤 綾子 |
| 生保内班 | 門脇 仙一 |
| 生保内班 | 武藤 一男 |

訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

小原 幸一さん(七十歳)

生保内班



任期満了に伴い新しく
委員に委嘱されました

◎安全・適正就業委員

委員長 田村 弘樹 (菅沢班)

副委員長 西宮 忠雄 (北部班)

委員 藤村 秋夫 (岩瀬班)

委員 佐藤 義孝 (神代班)

委員 西宮 博和 (西明寺班)

委員 佐藤 久一 (西明寺班)

委員 眞崎 浩光 (事務局)

委員 仙波 久美 (安全適正就業推進員)

◎広報委員

委員長 真田 修 (雲沢班)

副委員長 土屋 辰雄 (中央班)

委員 井上 久美子 (菅沢班)

委員 高田 紀市 (神代班)

委員 田村 茂雄 (生保内班)

委員 阿部 栄子 (西明寺班)

委員 草薨 八重子 (事務局)

文芸

俳句

神代班 大山 優子

○思いやり暑さに負けぬと草毛しる

○蕨草も不老長寿の酒を飲む

○朝涼の空に手合わす今日の無事

松木内班 橋本 勲

○アマビエとラジオ体操夏休み

○口下手やグリーンシャワーのおもてなし

松木内班 橋本 敦子

○雲の峰ここだけの話が筒抜けて

短歌

菅沢班 小田長 幾子

○駒ヶ岳行く道遠し今の吾

ニッコウキスゲ再びみたり

○ラジオより流れくるなり抒情歌

思い出深し亡母の歌声

雲沢班 奥田 進

○朝日浴びあいきつ響く学校へ

元氣いたゞく貴重な時間

雲沢班 菅原 シホ子

○ウィルスと戦う日々の長びきて

危機感薄れしを我は恐るる

○体力の衰えいるに気付けども

好きなことの出来る今をよるこぶ

西明寺班 阿部 栄子

○笑みこぼる胡桃おき逃げ我はよけ

ミラーでカラスとアイコンタクト

○クニマスの未来館には童衆らの

大漁の丸木船待つ写真のありぬ

○瀧尻の埠頭へ至るる「山全姿」

風が味方し面光輝

松木内班 橋本 敦子

○百歳の柩に納む鳩杖に嫁姑の見事な縁

川柳

北部班 青山 甫

○花吹雪最後の見せ場風まかせ

○畑仕事実り楽しみ腰伸ばす

松久内班 伊藤 謙悦

○暇だからテレビ見ながらカゴを編む

○マスク顔皆美人に見えるなり

○コロナ禍空っぽこまち風を切る

松久内班 伊藤 恭子

○新型コロナいつまで続く消えてくれ

○カラオケとグランドゴルフで惚け防止

○いつかくるマスクはずせる時を待つ

雲沢班 奥田 進

○病でも晩酌少し葉なり

松木内班 橋本 敦子

○小刀に削る鉛筆に能があつた...

広報委員会では、会員の皆さんからの文芸を、随時募集しております。

会員の声

中川小学校で

中川班 田口 恵美子

おかわりください

神代班 清水 力

孫娘と一緒に、今は角館と統合して無人となった中川小の鉄棒で遊んでいました。

二年前、知人から小学校の朝の開錠の仕事の誘いがあり、恐る恐る引き受けてみました。

シルバー人材センターに会員登録させていただき、以来子供達の明るい顔を見ながら、楽しい日々を送らせていただきました。

子供の人数はほぼ三十人位、十人十色で、朝元気に挨拶を交すと一日中さわやかな気持ちで過ごせました。

今もきれいに手入れをされている校庭の芝生、山ぼうしの並木、児童の声こそありませんが、中川地区のシンボルとしての姿を静かに表しています。少子高齢化とか色々暗くなりがちな話題も多くなってきましたが、あの明るい元気な子供達の顔を思い浮かべながら、がんばっていきたいと思います。

定年を迎えた三年目の朝、突然に狭心症とやらがやってきた。お医者様はサラリと言われた。「今までのツケが廻って来ましたネ」。短い入院を経て言われた。「運動して下さい!」。これもサラリと。だがその頃は散歩するだけで足首を痛め、コムラが傷付く状態で、運動などトモトモモ。果たして元気になれるのか、ずっとご飯を食べられるのかという思いで一杯だった。それでも月日とともに回復を覚え始める。「ヨシツ、リハビリをしよう」と決め込み、シルバーの門を叩いて四年。

食べ、飲み、一生懸命働く充実感、人にとってこれ以上の幸せはない。と書物にある。実感している。

今日もまた汗とともに一日を過ごせた。元気だ。ご飯が旨い。サンゴより貴重と言われる妻に腕を伸ばしながら言う。おかわりください。



角館町 藤邑 芳美

毎年(年2回)お世話になっており、我家にとつてなくてはならない力もち的存在で常に感謝の気持ちでいっぱいです。

そもそもシルバー人材センターを知るきっかけは、知人の紹介で、早いものでもう数十年。毎年同じ方が来てくださって作業内容、資材置場等を熟知している為、全てがスムーズで効率的でムダがなく、大変ありがたく感じています。

作業内容については、依頼するたびに、前回の課題整理を確認し的確で、ムダなく効率の良い作業は常に感心させられます。(常にムダの削減と効率UPへの取組みを学んだ)。更に冬囲いと終了時の整理整頓は、技術と労力が必要で、その出来栄えと仕事ぶりはすばらしく納得の一言です。又、特筆すべき事は、常に時間の有効活用

上げます。

福祉車両の運転は、毎日が緊張と思いやりの連続であり、介護職員が添乗するとは言葉、職員と協力して車イスの操作、利用者様の車酔いや個別の状態への配慮等、こまごまとした点が要求されます。

そのひとつひとつに真摯に対応して下さり、とても頼りがいのある運転士さんです。

又、福祉に携わる者には終生続く守秘義務があるわけですが、その点でも信頼申し上げており本当によい方とご縁があったと喜んでおります。

年齢的には私達の人生の先輩であると共に、高齢者への理解や共感も出来る経験の豊かさが福祉車両という特殊な業務も見事に成し遂げているのだと思います。田沢湖デイサービスセンターの看板を背負って走るの骨のおれることと思いますが、今後ともお体を大切にしながら、兄貴分としてお力を貸して下さいませよう宜しくお願い致します。

と明るく、元気なあいさつ行動力で、要望に対して、いやな顔をせず、ていねいな対応・説明には常にありがたいと思つていきます。人生の先輩らしく、長年の経験・技術をおしえていただく姿勢もあわせて、感謝です。

今後共、お世話になりますが変化する社会・環境に対応する為にも、人材の確保と伝承、存続の為にも、シルバーの言葉を感心させない、行動力、明るいあいさつで、がんばってください。

仙北市田沢湖デイサービスセンター
管理者 渡邊 朝子

今、介護業界はこの事業所も慢性の人員不足に悩まされていることは、広く知られていることですが、

当田沢湖デイサービスでは、シルバー人材センター様のご協力をいただき安心と安全を提供し続けることが出来ており、心よりお礼申し

令和2年度 高齢者活躍人材確保育成事業

この事業は、実際の就業体験や技能講習などを通じて、60歳以上の方、企業 双方にシルバー人材センターを理解していただき、シルバー人材センターの新規会員登録とシルバー人材センターを活用する企業を増加させることを目的としています。

今年度は、下記の講習が開催されますので受講をご希望される方は、是非お申込みください。

講習科目	講習期間	開催場所
緑地管理講習 (刈払機・剪定)	8/18(火)～8/20(木) 3日間	角館温泉 花葉館

◇ この講習は、基本的に一般高齢者が対象の講習となっておりますが、申し込み状況によっては会員も受講可能な講習となっておりますので、受講をご希望される会員はお申込みください。

※ 上記事業に関しては、最寄りのシルバー人材センターまでお問合せの上、お申込みください。

【お問合せ】(公社)仙北市シルバー人材センター事務局
☎55-1646

事務局だより

《ボランティア活動に参加してみませんか!》

毎年、角館地区、田沢湖地区、西木地区の各地区にてボランティア活動を実施しております。この活動はセンターの普及啓発を目的に実施しておりますので、会員同士お誘いの上ご参加くださいますようお願いいたします。

実施内容の詳細については各地域の班長さん、副班長さんを通じて会員の皆様にご案内いたします。

《令和元年度の活動》

- ・角館地区 桜の胴吹枝除去、植木の剪定（落合運動公園）
- ・田沢湖地区 除草及び屋外清掃（仙北市民会館）
- ・西木地区 植木の冬囲い（介護老人保健施設にしき園）

《シルバーフェアに向けて、作品等の出展協力をお願い》

当センターは、毎年10月に仙北市で開催される角館地区文化祭に普及啓発の一環として会員の作品を展示させていただいております。

今年度は新型コロナウイルスの影響により出店できるかどうかわかりませんが、開催時には会員の皆さんよりご自分の趣味等で作成しているクラフト小物やバッグ、吊るし雛の他、写真や絵画など、展示できるものであれば何でもかまいませんので、出展のご協力をお願いいたします。

（昨年までの展示作品）

- ・写真 ・硯箱 ・クラフト小物 ・毛糸手芸 ・吊るし雛 ・編み物 など

《ホームページの開設について》

今まで、当センターのホームページはありませんでしたが、多種多様な普及啓発を実施していく必要があることから、1月の開設を目指して作成しております。

開設の準備ができましたら、改めてお知らせいたします。

会員並びに一般市民の皆さまへ

当センターでは、平成28年度より放課後児童クラブ支援員の補助員として、連合会主催の講習を受講した会員を派遣しておりますが、年々該当会員が減ってきており、増員を必要としている状況であります。

つきましては、この度、仙北市子育て推進課のご協力のもと、下記の日程で講習会を開催することといたしましたので、就業を希望される方は是非受講していただきますようお願いいたします。

なお、受講される一般市民の皆さまにつきましては、是非、シルバー人材センターに会員登録していただき、就業していただきますよう併せてお願いいたします。

令和2年度 放課後児童クラブ支援員補助講習

開催日	受講時間	開催場所
令和2年9月3日(木)	9:30~11:30(2時間)	西木総合開発センター

【お申込み・お問合せ】シルバー人材センター事務局 ☎55-1646

同世代の仲間と一緒に働いてみませんか？

当センターでは、随時、仙北市にお住いの健康で元気な皆さまをお待ちしております。
今年度は、特に女性会員向けの仕事が増えてきております。

60歳以上で働く意欲があればどなたでも会員になれますので、お友達同士やご夫婦お揃いで説明会へ参加してみませんか？

お話を聞くだけでも構いませんので、お気軽にお問合せください。

【お問合せ先】 ☎55-1646

入会説明会の開催日

令和2年8月20日(木)	令和3年1月20日(水)
9月23日(水)	3月22日(月)
10月20日(火)	4月20日(火)
11月20日(金)	5月20日(木)
12月21日(月)	6月21日(月)
	7月20日(火)

※ 説明会へ参加希望の場合は、準備の都合により事前の申込みをお願いします。なお、2月の開催はありません。



襖張り 仕上がりが楽しみです



【就業体験・職場見学のお知らせ】

シルバー人材センターでは、センターの会員でない高齢者や職種転換を希望するセンター会員のほか、センター会員が希望する分野での仕事の発注が見込まれる企業や官公庁を対象に就業体験や職場見学を実施しております。

ご希望の際は、当センターまでお問合せください。



草むしり 黙々とがんばっています

編集後記

「あつ、マスク、マスク。」買い出しに出かけ、車を降りる時には着用しているかを確認するのが習慣となりました。

コロナウイルスの世界的感染拡大に伴い、「新しい生活様式」を余儀なくされています。それは、命を守るために避けては通れない新しい様式です。

公共の施設や店舗等では、パーテーションの設置をはじめとした飛沫感染防止策におわれ、ごく限られた人々がやっていたテレワークやオンライン授業などは、急激に数を増やしました。

私にできたことと言えば、マスクの手作りでした。ガーゼや布、ゴム紐を押し入れから引っ張り出し、とっておくものだなあと思いながら作りました。

様々な技術の発達と人間の知恵と努力が相まって、私達の生活は刻々と変化しています。長い年月、たくさん経験の積み重ねてきた私達会員は、培ってきた技能・経験・意欲を持っています。必要とされ、自らの特技を生かして働き、人々と交流できる場があることに喜びを感じ、これからも活動を続けていきたいと思います。

広報委員 井上久美子